

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	生活文化部	
	19009	亀山薪能開催事業		課名	文化スポーツ課 文化共生G	
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	06:文化芸術の振興と文化交流の促進			款	10:教育費
	施策の方向	04:文化芸術活動の活性化			項	05:社会教育費
戦略プロジェクト	-		目		07:文化振興費	
事業予定期間	R 2 ~ R 2 年度	主な根拠法令要綱等				

目的・概要	対象	市民
	目的	市民一人ひとりがさまざまな文化に触れることで、感性や心の豊かさを育むきっかけとするため、薪能を開催し、優れた文化芸術に直に触れることのできる機会を創出する。
概要	伝統芸能の裾野を広げる取り組みとして関係機関等と連携し、市民がより身近に「能」に触れることのできる亀山薪能を開催する。令和2年度は、市政施行15周年にあたることから、市政施行15周年記念事業に位置づける。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画		薪能の上演(令和2年8月予定) ポスター、チラシ等による開催周知		
	年度実績		実績なし		
事業の計画・実績	計画額	事業費		7,900千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	0千円	7,900千円	0千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費	0千円	0千円	0千円	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	総人件費	0千円	0千円	0千円	
	一般職員	0千円	0千円	0千円	
	所要人員		0.00		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		0千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	新能 観覧者数 市制施行10周年記念事業としてH27年度に開催した新能の観覧者数(900人)以上を目標とする。	成果	計画値		900	
				実績値		0	
				単位		人	
	名称				計画値		
					実績値		
					単位		
	名称				計画値		
					実績値		
					単位		

事業の改善行動	前回評価	[前回評価の対応方針の概要を記入]
	改善行動	[前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか]

		評価	(判定)
事業の評価	活動	[計画どおりに実施できたか] 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新能の開催を中止した。	D 実施できなかった
	成果	[成果は順調に上がったか] 新能の開催中止により、成果が得られなかった。	D 成果を得られなかった

今後の対応方針	課題	[課題は何か] 費用対効果について問題視する声が強いため、事業の在り方を検討する必要がある。また、新能は市の伝統芸能ではなく、現状では市制施行記念毎に実施する記念事業的なものとなっており、文化振興事業として実施すべきどうか、実行するセクションは適切かも併せて検討が必要である。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載] 令和2年度で事業完了
	対応	[課題に対し、どのように対応するか] 費用対効果の面から、新能を開催していくべきかどうか、実施するとどのような効果があるのか、事業の位置付けを含め、根本的に事業の在り方を検討する。	
	効果	[対応することで、どのような効果が期待できるか] 事業の在り方を明確にすることで、市の考え方をしっかりと説明することができ、市民の理解が得られるようにすることができる。	
対応時期		令和7年度	

[1次評価者]	生活文化部 文化スポーツ課 文化共生グループリーダー 松岡 保範
[最終評価者]	生活文化部 文化スポーツ課長 小森 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	/	D	
	成果	/	/	/	D	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		0千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	0千円
	令和3年度への繰越額	千円